

10月から75歳以上に無料乗車券



10月からコミュニティバスの無料乗車券の対象が「80歳以上」から「75歳以上」に拡充されました。「早速申請に行きましたよ」と嬉しい声が届いています。日本共産党市議団が粘り強く要求し続けてきたものです。

無料乗車券の交付を希望される方は、甲賀市役所か地域市民センターで申請することができます。手続きは、年齢がわかる身分証明書（運転免許証、保険証など）と印鑑が必要です。



切実な要求 政府に直接実現迫る

日本共産党滋賀県地方議員団

山岡光広議員

国会議員と連携

新名神甲南PAを調査する清水忠史衆院議員と山岡市議



日本共産党の山岡光広議員は、市民の切実な要求を実現するため、国の制度改善や財政支援をすれば解決できる問題に絞って、今年も上京し、政府と直接交渉を行いました。今回は、4省17項目。日本共産党の清水忠史衆院議員とともに事前に実

新名神甲南インターPAとの接続

国交省「連結変更必要ない」

■：国土交通省は、大戸川ダム凍結解除と河川整備の促進、新名神甲南インターと甲南PAとの流入路、JRの簡易委託駅、通学路の交通安全対策費の充実の5項目。地方議員団

から実態調査をふまえた写真や資料を示しながら改善を求めました。このなかで、新名神甲南インターと甲南PAの接続流入路について「(国交省への)連結変更許可は必要ない」と回答があり、事業主体である滋賀県がやるかやらないかにかかっていることが明らかになりました。

この問題では、滋賀県議会で日本共産党の節本三千代県議が取り上げ、県に実現を再度求めました。

また甲賀市内4駅(甲南・寺庄・甲賀・油日)のように市がJRの簡易委託駅として運営している地域は、「切符の販売収入の5%しか市に入らないため赤字」となっている実態を紹介、政府としても改善指導するよう求めました。国交省も「初めて知った」と回答しました。

■：文部科学省では、継続して何度も要望している「養護学校の超過密化解消のために特別支援学校

態調査や要求の具体的事実を聞き取り、それを政府に直接届けました。このなかで懸案となっている新名神甲南PAとICとの接続に関して国交省は「連結変更必要ない」と明確に伝えるなど、実現へ大きな成果でした。引き続き取り組みます。

にだけ設置基準がない」問題について、また「毎日保護者送迎をしなければならぬ医療的ケア児の通学保障」について、さらに外国人を対象にした日本語初期指導教室に対して事業補助の拡充と教室設置に係る補助金制度の創設など5項目を要望しました。

■：厚生労働省では、高すぎる国保税を引き下げするため「国庫一兆円の投入を」「子どもに係る均等割の見直しを」「子どもに係る国の特別調整交付金は、県が市町の納付金から差し引くのではなく、市町に届くように改善を」と迫りました。さらには養護学校卒業後の「行き場」を確保するための施設整備、放課後デイサービスの実態把握、民生児童委員の処遇改善、安心できる看護師確保の5項目を求めました。

現地調査をもとに実現迫る

■：総務省は、JR簡易委託駅、多文化共生推進プラン充実の2項目でした。